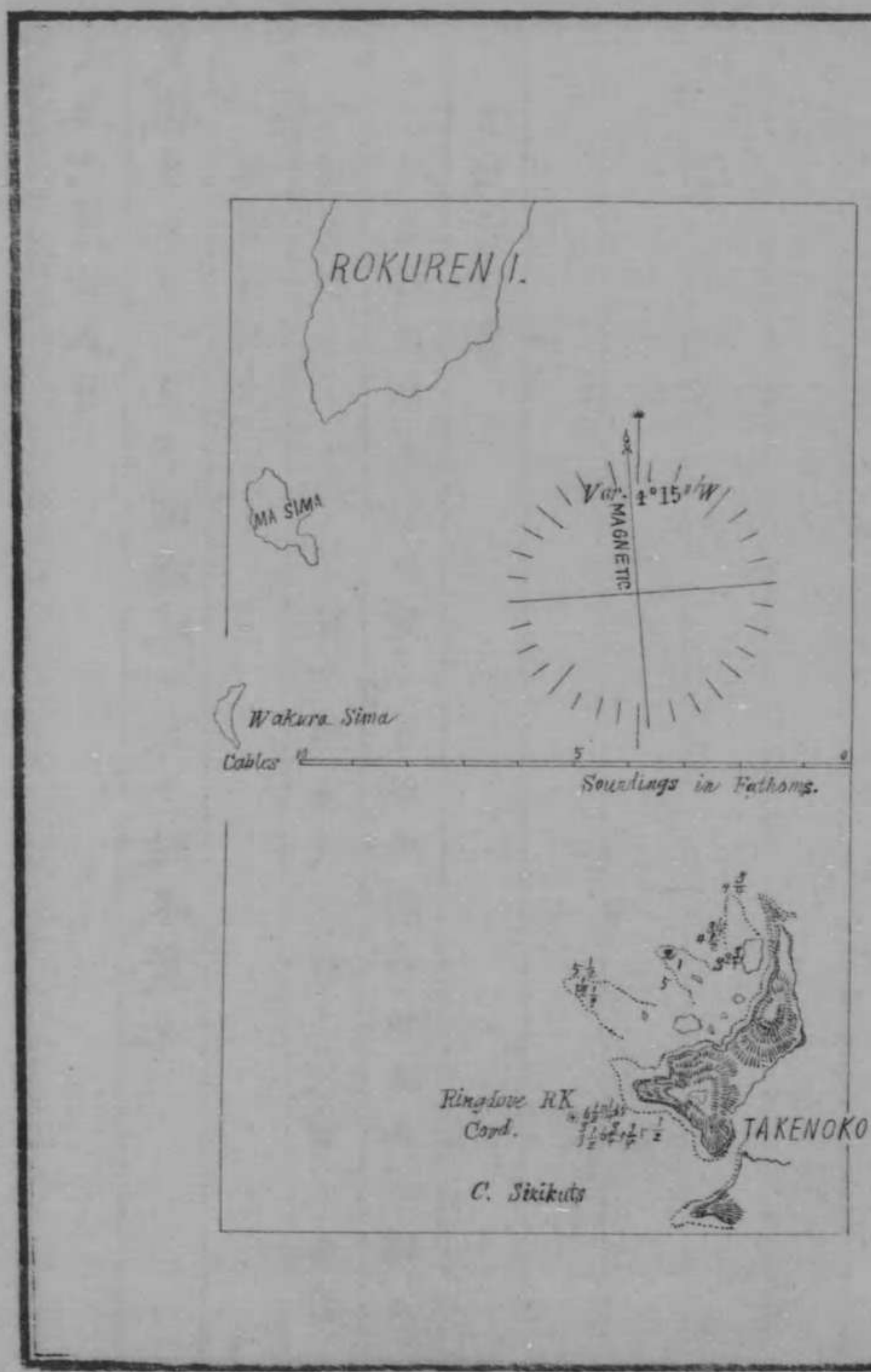


別紙圖面



二月七日

九年

長門國元山之洲ニ浮標ヲ設ク

工部省布達

今般長門國元山之洲ニ於テ別紙位置形状ノ通一箇

ノ浮標設置候條此旨布達候事 工部 二月七日

明治九年 西曆一千八百八十一年 第二号元山浮標

一日本政府布告ス内海元山ノ東南ニ當シ淺洲ノ位

置ヲ示ス夕ノ一箇ノ浮標ヲ設置ス

一浮標ノ位置并ニ形質ハ左ニ詳記スル者ナリ

明治九年二月七日 西曆一千八百八十一年 第十八号

横濱辨天燈臺寮 燈臺頭佐藤興三

一元山ノ洲ハ内海周防灘ノ極西ニアリテ元山ノ東
南ニ延直ス浮標ハ該洲東南端ノ外方ニシテ下ノ開

海峡ナル部崎燈臺ノ東南九十三里半 海里ヲ離レ退潮ノ時水ノ深サ十尋ノ處ニ浮置ス

一部崎燈臺ハ浮標ヨリ北六十五度半西サベコヨリ直東南ナル北海岸ノ端ハ北二度半東姫島ノ東北端ハ南六十八度半東ニ當ル但真方位ナリ

一浮標ハ赤色ニシテ頂ニ球形ノ籠ヲ載置ス其高サ海面ヨリ一丈五尺ナリ工部

築造方 アール、ヘンリー、グラントン

十二月五日 九年

山口縣下長門國元山洲浮標ノ位置ヲ變換ス

工部省布達

本年^{十一月}第二号ヲ以布達セシ山口縣下長門國元山洲浮標ノ位置今般左ノ通變換候條此旨更ニ布達候事

十二月五日 工部

明治九年^{西曆一千八百七十六年}第九号

元山浮標

一長門國元山淺洲ヲ指示セル浮標ヲ從前ノ位置ヨリ西北ニ七百五十間轉移シ該洲南端ヲ表示ス其設置ノ場所ハ退潮ノトキ水ノ深サ五尋半ナリ其北方ニ直接シテ同ク水ノ深サ二尋半ノ處ニ一ノ淺瀬ヲ

一豊前國神ノ島ハ南六十九度三十分西部崎燈臺ハ
北六十五度三十分西元山ノ巔ハ北四十度十五分西
姫島ノ巔ハ南六十四度三十分東ニ當ル右ハ真方位
ニシテ改置浮標ノ點ヨリ測定ス

十月三十日

内務省一達 陸軍省

別紙工部省同長州元山洲豫備浮標圍庫建築地所ノ
儀朱書ノ通及指令候條全省官用地ニ組入渡方可取
計此旨相達候事 工部

大藏省一達 陸軍省

右全文組入渡方可取計様内務省一相達候此旨可相心
得事

工部省同 九月十九日

福岡縣下第一大區二小區青江村

字青濱部崎官有地

一地坪十坪

第十七百五十八番民有地